

2025年度
神戸大学大学院国際協力研究科
博士課程前期課程入試 第Ⅰ期
(一般入試)

専門科目 問題冊子

全9ページ

経済学・経済開発論	P. 1	国際関係論	P. 6
法学概論	P. 3	教育開発論	P. 7
国際法	P. 4	公衆衛生学	P. 8
政治学	P. 5	国際防災論	P. 9

- ※ 設問ごとに解答用紙を分けて解答すること。
- ※ 各受験者は、受験票に明記されている受験科目のみを解答すること。
それ以外の科目を解答した場合は、採点の対象になりません。
- ※ 全ての専門科目について、日本語又は英語での解答を認める。

2025年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第Ⅰ期）試験問題
〔試験科目：専門科目（経済学・経済開発論）〕

以下の設問に答えなさい。ただし、設問1は1枚目の解答用紙に、設問2は2枚目の解答用紙に分けて解答すること。

設問1 次の用語から5つを選択して、それぞれについて説明しなさい。（各10点、計50点）

- (1) マルサスの罠
- (2) 大数の法則
- (3) クラウディング・アウト
- (4) 絶対的貧困
- (5) 女性労働力率のM字カーブ
- (6) 流動性の罠
- (7) 標本分散
- (8) 共有地の悲劇
- (9) 開発援助のファンジビリティ (Aid Fungibility)
- (10) 社会関係資本 (Social Capital、ソーシャル・キャピタル)

設問2 次の(1)～(3)より1つを選択し、選択した問題番号を明記した上で、解答を記入しなさい。（50点）

(1) 赤色と青色の2色のゆがみのないサイコロがある。その2つのサイコロを同時に投げた時、赤色のサイコロの出た目をXとし、青色のサイコロの出た目をYとする。このとき、以下の設問に答えなさい。（各10点）

- (A) 赤の目が2で青の目が3である確率、つまり $P(X=2, Y=3)$ 、を求めなさい。
- (B) 赤の目が2以下である確率、つまり $P(X \leq 2)$ 、を求めなさい。
- (C) Xの期待値、 $E(X)$ 、を求めなさい。
- (D) $P(X+Y=5)$ を求めなさい。
- (E) 右の条件付確率を求めなさい： $P(X \leq 2 \mid X+Y=5)$

(2) 開発援助について、以下の設問に答えなさい。

- (A) 政府開発援助とはなにか、その概要を説明せよ。（10点）
- (B) ツー・ギャップ・モデルについて、その概要を説明せよ。（10点）
- (C) プログラム援助とはなにか、説明せよ。（10点）
- (D) 援助の集中砲火、協調援助の用語を用いながら、政府開発援助の運用について論じなさい。（20点）

(3) いま、リンゴ(x)とミカン(y)のみを消費する人がおり、この消費者の効用関数は $U = xy$ であるとする。リンゴは1個100円、ミカンは1個50円で、この消費者は2000円を持っているとする。このとき、以下の設問に答えなさい。(各10点)

(A) 2000円全てをリンゴとミカンの購入に充てるとする。この時、リンゴとミカンの購入量の関係式(予算制約式)を示せ。

(B) 上の予算制約式を、縦軸をミカン(y)、横軸をリンゴ(x)とする平面上に描きなさい。

(C) 上の予算制約式を効用関数に代入して、効用関数をリンゴ(x)のみで表される式に示なさい。

(D) 上の(C)で求めた式を、縦軸を効用(U)、横軸をリンゴ(x)とする平面上に描きなさい。

(E) 効用を最大にするリンゴ(x)とミカン(y)の購入量を求めなさい。

2024年9月2日実施

2025年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第Ⅰ期）試験問題
〔試験科目：専門科目（法学概論）〕

以下の設問に答えなさい。ただし、設問1は1枚目の解答用紙に、設問2は2枚目の解答用紙に分けて解答すること。

設問1 日本国憲法14条1項は、「すべて国民は、法の下に平等であつて、（ ）により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」と規定する。この条文について以下の問い（1）、（2）、（3）に答えなさい。

（1）設問の中で（ ）に当てはまる列举事由を5つ挙げなさい。（各2点、計10点）

（2）「法の下に」平等であるとは、どういう意味か説明しなさい。（20点）

（3）社会通念上「法の下に平等」に反しない合理的な法的取扱いの差異として認容される法律上の事例を一つ挙げて説明しなさい。（20点）

設問2 以下の用語から5つを選んで、それぞれ説明しなさい。（各10点、計50点）

- （1）コモン・ロー
- （2）パターナリズム
- （3）相互主義
- （4）家庭裁判所
- （5）不作為犯
- （6）解除条件
- （7）連帯債務
- （8）ユニオン・ショップ
- （9）在留資格
- （10）類推解釈

2025年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第Ⅰ期）試験問題
〔試験科目：専門科目（国際法）〕

設問 以下の設問に答えなさい。

侵略行為について国際法が定める法的帰結とその国際法的課題（国連憲章の下で侵略行為が認定された場合、侵略の定義に関する国連総会決議が定める法的帰結やその課題、国家責任法の下での法的帰結やその課題、その他国際司法裁判所の判例や国際法の最近の発展によって明確になってきた侵略行為に付随する法的帰結やその課題、など）について、体系的に論じなさい。

(100点)

2025年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第Ⅰ期）試験問題
〔試験科目：専門科目（政治学）〕

以下の設問に答えなさい。ただし、設問1は1枚目の解答用紙に、設問2は2枚目および3枚目の解答用紙に分けて解答すること。

設問1 今日の世界では、多くの国において、「社会のイデオロギー的分断」や「政治的分極化」と言われる現象が起こっています。それではこのような現象は、何故起こり、各国の政治にどのような影響を与えているのでしょうか。また、このような現象が顕著に観察できない国との違いはどこにあるのでしょうか。最初にこの現象が何であるかについて説明した上で、具体的な国や地域の事例を挙げて論じなさい。（50点）

設問2 次の用語の中から5つを選択して、それぞれについて政治学的な含意を踏まえて、説明しなさい。（各10点、計50点）

- (1) 比例代表制
- (2) ジェンダー主流化
- (3) (議会の) 会期
- (4) 死票
- (5) モラルハザード
- (6) 多極共存型民主主義
- (7) 包括政党
- (8) テレポリティクス
- (9) 再分配政策
- (10) 政治的無力感
- (11) 歴史的経路依存性
- (12) 代表的官僚制
- (13) コーホート分析

2025年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第Ⅰ期）試験問題
〔試験科目：専門科目（国際関係論）〕

以下の設問に答えなさい。ただし、設問1は1枚目の解答用紙に、設問2は2枚目の解答用紙に分けて解答すること。

設問1 国際社会における人権保障の発展について、国際関係論の観点から以下の問いに答えなさい。（計50点）

※注意：「A国は～すべき」といった未来に向けた政策提言ではなく、現実の説明に重点を置くこと。問題の趣旨からはずれた解答をした場合、採点の対象となりません。

- (1) 現代の国際社会においては、「人権保障の一義的な責任は国家にある」とされる。それはなぜか。加えて、「人権保障の一義的な責任は国家にある」ことがもたらす帰結について具体的に論じなさい。（20点）
- (2) 主要な人権条約を締結しているにもかかわらず、人権侵害を続ける国家が存在する。これらの国家が人権保障に取り組むようになるためにはどのような条件が必要だと論じられてきたか。国際関係論における理論・モデルの中から三つ取り上げ、それぞれ具体的に説明しなさい。（30点）

設問2 次の項目の中から5つを選択し、それぞれについて具体的事例をまじえて簡潔に説明しなさい。（各10点、計50点）

- (1) 国際公共財
- (2) 安全保障のジレンマ
- (3) 多国間主義
- (4) 共通だが差異ある責任
- (5) 保護する責任
- (6) 協調的安全保障
- (7) 恐怖の均衡
- (8) 国際レジーム

2025年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第Ⅰ期）試験問題
〔試験科目：専門科目（教育開発論）〕

以下の6つの設問から4つを選び答えなさい。各設問をそれぞれ別の解答用紙に分けて解答すること。（各25点、計100点）

- 設問1 サハラ以南のアフリカでは、いまだに学校に通えない子どもが多く、とくに女子が教育の機会から取り残されている。この要因について述べなさい。また、この問題の解決策についても具体的に論じなさい。
- 設問2 世界経済フォーラムが毎年発表するジェンダーギャップ指数では、日本の国際的順位の低さが問題視されることがある。何がどのように問題なのか、教育の収益率の観点から説明しなさい。
- 設問3 日本では小中高学校教員を志望する学生が減少しており、学校教育の質の低下が懸念されているが、教員志望学生を増加させるためにはどうしたらよいか、現実的に有効な策について具体的に論じなさい。
- 設問4 アンケート調査の分析結果は、回答者がどれだけ真面目に回答するかに大きく左右される。回答者にできるだけ真面目に回答してもらえるようにするにはどうすればよいか、現実的に有効な策について具体的に論じなさい。
- 設問5 アメリカ合衆国では、大学入学の際に人種を考慮する措置が憲法違反であると連邦最高裁が判断を示したことに対して、世論が賛否両論に分かれている。こうした措置は憲法違反であるとする立場の論拠と、そうではないとする立場の論拠をそれぞれ示しなさい。
- 設問6 国際機関であるユネスコ、ユニセフ、世界銀行はそれぞれ異なるアプローチで開発途上国の教育を支援しているが、それぞれのアプローチについて具体的に論じなさい。

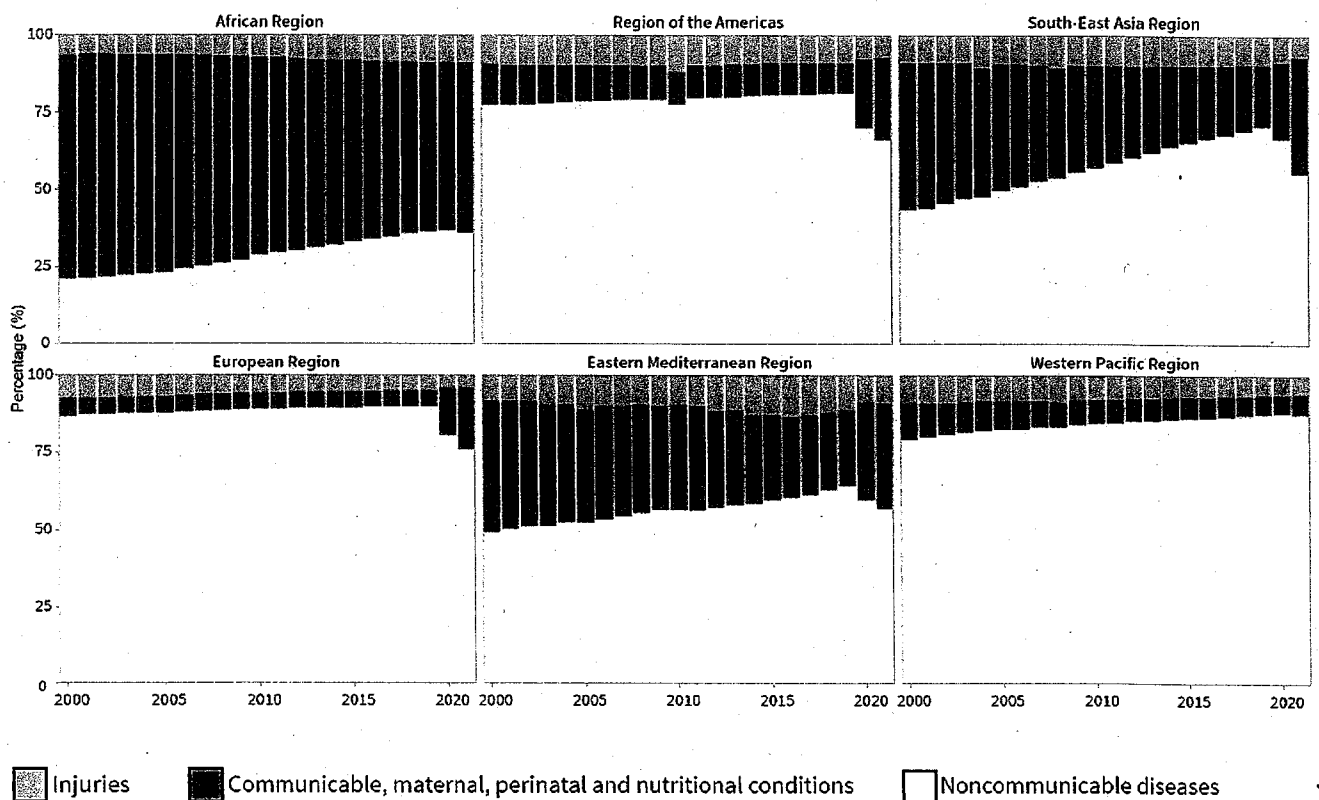
2025年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第Ⅰ期）試験問題
〔試験科目：専門科目（公衆衛生学）〕

以下の設問1または設問2のどちらか1つを選択して答えなさい。

設問1（各50点、計100点）

（1）下図は、World Health Statistics 2024に掲載されている、WHOの6地域ごとの死因の内訳の年次推移である。この図から読み取れることをすべて書きなさい。（50点）

Figure 1.5 Composition of causes of death, by WHO region, 2000-2021



（2）健康寿命の考え方について説明しなさい。とくに、公衆衛生学の視点から、平均寿命との意味の違いを明示すること。（50点）

設問2（100点）

いわゆる夏風邪はウイルス感染症であることが多い。該当するウイルス感染症について、その病名、症状、原因ウイルスの特徴、伝播経路などについて知っていることを記載してください。

2025年度 神戸大学大学院国際協力研究科
入学試験（第Ⅰ期）試験問題
〔試験科目：専門科目（国際防災論）〕

以下の設問に答えなさい。ただし、設問1は1枚目の解答用紙に、設問2は2枚目の解答用紙に分けて解答すること。

設問1 次の用語について、それぞれ説明しなさい。

(各10点、計50点)

- (1) 災害レジリエンス (Disaster Resilience)
- (2) リスクコミュニケーション (Risk Communication)
- (3) 自主防災組織 (Voluntary Disaster Management Organization)
- (4) 災害対策基本法 (Disaster Countermeasures Basic Act)
- (5) 福祉避難所 (Welfare Evacuation Center)

設問2 来年は阪神・淡路大震災から30年の節目にあたる。同震災の被害の特徴と復興計画として進められた防災対策を、具体例を示しながら説明しなさい。

(50点)